

日照市概況



日照

【基礎情報】(2024年)

- 人口: 296.83万人(省内14位/16市)
- 面積: 5,374km²(省内15位)
- GDP: 2556.89億元(省内15位)



【党委書記 李在武】

1970年9月生まれ、済南出身。
2023年7月～現職

(前任: 張恵・青島市副書記)



【市長 王新生】

1973年8月生まれ、青島出身。
2023年8月～現職

(前任: 李在武・日照市書記)

【歴史的エピソード】

- ◆新石器時代を代表する龍山文化の発祥の地の一つと言われる。
- ◆地名は「日の出が最初に照らす地」(中文: 日出初光先照)に由来。
- ◆以前は臨沂市に属していたが、1989年に地級市として分離。
- ◆日照石臼港湾の石炭積み出し施設は円借款で建設(1982年)。現在は公園に整地化。

【現在の特徴】

- ◆中国の海岸線の中に位置し、「北方の南方、南方の北方」と呼ばれるほか、「東方の太陽の街」のニックネームも有する。
- ◆日照港は重要な産業拠点で、石炭や鉄鉱石の搬出港として有名。貨物取扱量は世界7位。
- ◆スポーツ振興にも注力。人口一人あたりスポーツ施設面積は全国1位。
- ◆日照を祖籍とする丁肇中(サミュエル・ティン)氏は1976年にノーベル物理学賞を受賞。現在は米国在住。
- ◆特産・名物: 緑茶(世界三大沿海緑茶生産地の一つ)
- ◆新築の建物に太陽熱温水器や太陽光パネルの設置を義務づけるなど、地名にふさわしい取り組みを展開。

【日本との関係】

- ◆在留邦人: 15人(2024年10月現在)
- ◆友好都市: 室蘭市(2002年)
- ◆ODA: 日照港建設事業(第一期: 1979～1983年、第二期: 1991～1992年)の円借款協力実績あり。

【日本とゆかりのある地・施設】

◆白鷺湾在水美術館(五蓮県)

日本人建築家・石上純也氏が手がけた美術館で、2023年に完成。水上に浮かぶ全長1キロの形状が独特。



【観光地】

◆万平口海洋公園(東港区)

海岸線の美しい日照市の中でも代表的な存在で、美しい砂浜が自慢。



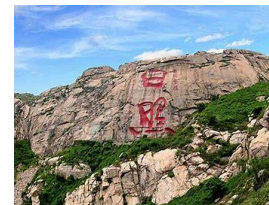
◆莒州博物館(莒県)

齊、魯と並び「山東省三大文化」の一つとされる莒文化の遺物を展示。甲骨文字より1500年古く、中国文学の原型と考えられている模様が彫られた土壺類は必見。また付近の浮来山・定林寺には「世界最古の銀杏の木」としてギネス登録された樹齢4000年の大木を見学できる。



◆河山

高さ629メートルの絶壁に赤字で掘られた「日照」の字はそれぞれ縦横約20メートルあり、世界最大の石刻の漢字としてギネスに登録。



【グルメ】

◆酸辣烏魚蛋湯

ボラの卵を使った伝統的なスープ。



◆莒県全羊湯

羊肉がまるごと入った栄養満点のスープ。



◆海沙子面

日照市の伝統的な美食で、地元特産の非常に小さな「櫻蛤」をスープの原料として作った麺料理。

